

# 2018年12月期第3四半期

(2018年1月1日～2018年9月30日)

## 決算補足資料

2018年10月31日  
株式会社電通国際情報サービス

COPYRIGHT INFORMATION SERVICES INTERNATIONAL-DENTSU, LTD.

### (1) 2018年12月期 第3四半期連結業績

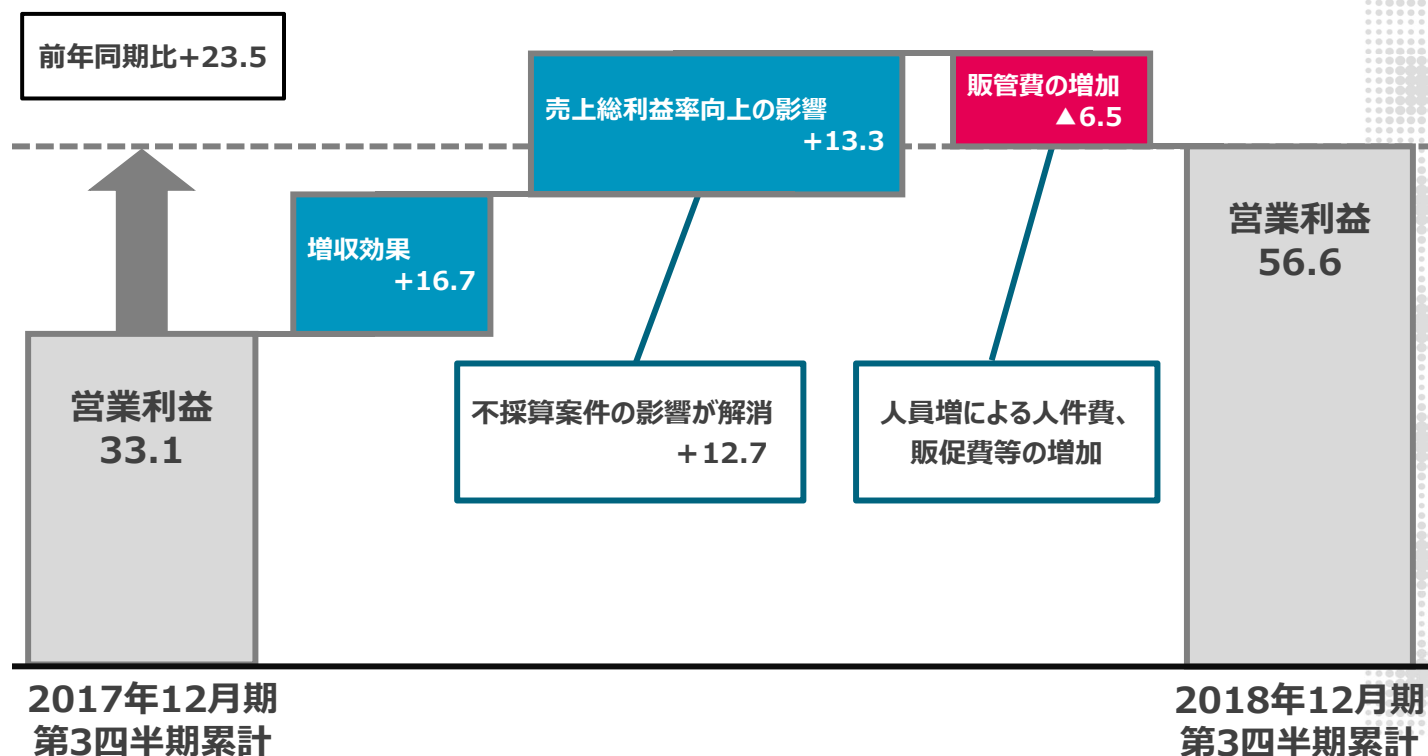
【売上高】 金融ソリューション、エンジニアリングソリューション、コミュニケーションITが好調に推移したことにより増収  
【営業利益】 増収効果に加え、前年同期に減益要因となった不採算案件の影響が解消したことにより増益

(単位：百万円)

	2018年12月期 第3四半期累計	前年同期との比較		
		前年同期	増減額	増減率(%)
売上高	64,625	59,225	+5,400	+9.1
売上総利益	21,337	18,333	+3,004	+16.4
売上総利益率	33.0%	31.0%	+2.0p	-
販売費及び一般管理費	15,675	15,016	+659	+4.4
営業利益	5,662	3,316	+2,346	+70.7
営業利益率	8.8%	5.6%	+3.2p	-
経常利益	5,675	3,428	+2,247	+65.5
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,788	2,759	+1,029	+37.3

## (2) 営業利益の増減要因【前年同期比】

(単位：億円)



## (3) 事業セグメント別売上高および営業利益

(単位：百万円)

事業セグメント	2018年12月期 第3四半期累計	前年同期との比較		概況	
		増減額	増減率(%)		
金融ソリューション	売上高	16,330	+1,165	+7.7	主要顧客に加え、新規に獲得した政府系金融機関ならびに事業会社向けのシステム開発が拡大し、増収増益。
	営業利益	1,233	+237	+23.8	
	%	7.6%	+1.0p	-	
ビジネスソリューション	売上高	11,732	▲1,078	▲8.4	「POSITIVE」等のソフトウェア製品販売が堅調に推移したものの、大型案件終了に伴う反動減により減収。前年同期に減益要因となった不採算案件の影響が解消し、増益。
	営業利益	356	+241	+209.6	
	%	3.0%	+2.1p	-	
エンジニアリングソリューション	売上高	21,645	+2,995	+16.1	電機・精密業界向けを中心に「NX」、 「Teamcenter」が拡大したことに加え、 自動車業界向けにスマートファクトリー領域が好調に推移し、増収増益。
	営業利益	1,873	+1,074	+134.4	
	%	8.7%	+4.4p	-	
コミュニケーションIT	売上高	14,916	+2,318	+18.4	電通グループの労働環境改革支援、ならびに 電通協業ビジネスにおけるデジタルマーケティング 領域が拡大し、増収増益。
	営業利益	2,198	+793	+56.4	
	%	14.7%	+3.5p	-	

## (4) サービス品目別 連結売上高

(単位：百万円)

サービス品目	2018年12月期 第3四半期累計	前年同期との比較		概況
		増減額	増減率(%)	
コンサルティングサービス	4,663	+805	+20.9%	デジタルマーケティング分野、設計・製造分野が拡大
受託システム開発	16,586	+578	+3.6%	運輸業向け案件がヒートアップしたものの、電通グループならびに金融機関向けを中心に拡大
ソフトウェア製品	10,931	+561	+5.4%	「POSITIVE」、「Business SPECTRE」、「iQUAVIS」が拡大
ソフトウェア商品	20,062	+1,428	+7.7%	「NX」、「Teamcenter」、SalesForce関連が拡大
アウトソーシング・運用保守サービス	6,694	+895	+15.4%	電通グループ向けが拡大
情報機器販売・その他	5,686	+1,133	+24.9%	電通グループ、自動車業界ならびに金融機関向けを中心に拡大

※ Business SPECTRE…SAPグループ向け iQUAVIS…構築型クラウド

## (5) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2018年 9月30日	2017年 12月31日	増減額	主な増減要因
流動資産	62,824	59,311	+3,513	前渡金の増加(+3,107)、仕掛品の増加(+1,217) 預け金の増加(+686)、売上債権の減少(▲1,628)
固定資産	14,474	12,692	+1,782	有形固定資産の増加(+856)、 投資有価証券・関係会社出資金の増加(+791)
資産合計	77,298	72,003	+5,295	
流動負債	25,019	21,950	+3,069	未払費用の増加(+1,913)、前受金の増加(+1,184)
固定負債	2,612	2,252	+360	リース債務の増加(+321)
負債合計	27,632	24,203	+3,429	
純資産合計	49,666	47,800	+1,865	利益剰余金の増加(+1,996)、 その他の包括利益累計額の減少(▲129)
負債純資産合計	77,298	72,003	+5,295	

## (6) 受注高・受注残高

- 第2四半期に、政府系金融機関向け大型案件(65億円)を落札したこと等により、金融ソリューションの受注高・受注残高が大幅増。

(単位：百万円)

		受注高		受注残高	
		2018年12月期 第3四半期累計	前年同期比 増減率(%)	2018年12月期 第3四半期累計	前年同期比 増減率(%)
事業セグメント別 内訳	金融ソリューション	23,173	+46.6	12,058	+107.9
	ビジネスソリューション	12,207	+2.0	6,470	+16.3
	エンジニアリングソリューション	24,426	+16.4	11,217	+18.9
	コミュニケーションIT	16,220	+6.3	5,785	+4.5
サービス品目別 内訳	コンサルティングサービス	5,134	+34.0	1,040	+41.9
	受託システム開発	24,222	+47.7	11,659	+134.9
	ソフトウェア製品	10,829	+1.1	5,186	+1.7
	ソフトウェア商品	22,571	+7.2	11,703	+14.7
	アウトソーシング・運用保守	6,645	▲3.1	2,420	+3.9
	情報機器販売・その他	6,622	+28.2	3,520	+17.3
	合計	76,027	+18.8	35,531	+34.9

## 業績予想

注) この資料に記載しております業績の予想数値は、業界の動向、顧客の状況、その他現時点で入手可能な情報による判断及び仮定により算出した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、予想に内在する不確定要因や内外の状況変化等により、実際の業績は当該予想とは異なる場合がありますのでご承知おください。

# 2018年12月期 業績予想

- 通期業績予想は2018年2月9日に発表した予想を据え置く。

(単位：百万円)

<参考値>

	通期	前期比			通期業績予想に対する第3四半期累計進捗率
		前期	増減額	増減率(%)	
売上高	88,000	83,423	+4,577	+5.5	73.4%
営業利益	7,000	5,489	+1,511	+27.5	80.9%
営業利益率	8.0%	6.6%	+1.4p	-	-
経常利益	7,034	5,642	+1,392	+24.7	80.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,807	4,438	+369	+8.3	78.8%

# 2018年12月期 業績予想 (事業セグメント別)

(単位：百万円)

<参考値>

	通期	前期比			通期業績予想に対する第3四半期累計進捗率
		前期	増減額	増減率(%)	
金融ソリューション	23,400	21,413	+1,987	+9.3	69.8%
ビジネスソリューション	17,600	17,033	+567	+3.3	66.7%
エンジニアリングソリューション	28,000	25,530	+2,470	+9.7	77.3%
コミュニケーションIT	19,000	19,445	▲445	▲2.3	78.5%
合計	88,000	83,423	+4,577	+5.5	73.4%

# 2018年12月期 業績予想（サービス品目別）

（単位：百万円）

<参考値>

	通期	前期比			通期業績予想に対する第3四半期累計進捗率
		前期	増減額	増減率(%)	
コンサルティングサービス	5,678	5,515	+163	+3.0	82.1%
受託システム開発	23,874	22,473	+1,401	+6.2	69.5%
ソフトウェア製品	16,241	14,752	+1,489	+10.1	67.3%
ソフトウェア商品	26,952	25,077	+1,875	+7.5	74.4%
アウトソーシング・運用保守サービス	8,209	8,587	▲378	▲4.4	81.5%
情報機器販売・その他	7,044	7,017	+27	+0.4	80.7%
合計	88,000	83,423	+4,577	+5.5	73.4%

## 主要プレスリリース <2018年8月～2018年10月>

### 金融ソリューションセグメント

- 8/1 AI insideとAIを活用したOCRサービスで協業
- 9/19 Authleteとセブン銀行向けにOAuth 2.0準拠のAPI認可サーバー構築
- 9/26 東京大学と、仮想通貨市場の変動と関連するツイートを抽出するAIアルゴリズムの共同研究を開始
- 10/10 みずほFGらと連携し福岡のはしご酒イベントにチケットレス・キャッシュレスアプリを提供
- 10/22 静岡銀行のラップ口座開設ポータルをSalesforce Community Cloudで構築

### ビジネスソリューションセグメント

- 8/21 企業経営管理ソフトウェア「CCH Tagetik」の提供を開始
- 10/30 エンタープライズアプリケーション開発基盤「aiuola」を発表
- 10/30 経費精算システム「Ci\*X Expense」と自動仕訳システム「Ci\*X Journalizer」の提供を開始

### エンジニアリングソリューションセグメント

- 10/11 品質革新への取り組みが「アジアQFDシンポジウム2018」でアワードを受賞

### オープンイノベーションラボ・他

- 9/11 量子コンピュータ×ブロックチェーンの国際ワークショップを京都・宮津で10月開催
- 9/14 遠隔コミュニケーションデバイス「TiCA」が「2018 ACC TOKYO CREATIVITY AWARDS」にて受賞
- 10/11 「働き方改革」の効果をAIで可視化する実証実験を開始
- 10/16 人工知能（AI）技術による大規模データ解析サービス「CALC」に新機能を搭載